KUMAMOTO
みつかる。つながる。よくなっていく。
No.634 2026

YMCA NEWS 11・12

2026年11月1日発行
（毎月1日発行）
1984年8月15日第3種郵便物認可
発行所／（公財）熊本YMCA
〒860-8739
熊本市中央区段山本町4-1
Tel 096-353-6397㈹

YMCA 年末募金

こども　若者　国際協力

出会いとつながりを大切に
これからも希望のあるより豊かな社会をつくります。



募金の使途

こどもたちの支援
BAPY基金（参加費減免制度）★
福祉キャンプ　地域支援活動

学生・留学生の支援

ボランティアリーダーの育成

国際協力

地域社会の支援

BAPY基金（参加費減免制度）　“BE A PARTNER OF THE YOUTH”

公益財団法人熊本YMCAはすべての子どもたちがYMCAのプログラムに参加できるように、BAPY基金（参加費減免制度）を設けています。

ひとり親世帯や、特別児童扶養手当受給世帯等、YMCAのプログラムに、経済的理由により参加できない子どもたちに対して、費用の一部を減免します。

参加できるプログラム



通年プログラム　スポーツスクール・野外活動・キャンプ・英会話スクール・アフタースクール・各種講座など

季節プログラム　短期講習会・キャンプ（春期・夏期・冬期）など

Voice　BAPY基金利用者の声

水泳教室参加者（小学2年生）保護者より

息子はお兄ちゃんの影響で2025年度から水泳教室に参加しはじめました。泳げるようになる事へのよろこびが大きく、YMCAに行くのを毎週たのしみにしているようです。経済的な理由で習い事はできないかもしれないと思っていましたが、YMCAには子どもたちの可能性を広げるこのような制度があるので助かっています。

BAPY基金とは

“BE A PARTNER OF THE YOUTH”の略で「青少年のパートナーになろう」という意味を表し、皆様からの尊いご寄付によって支えられています。利用をご希望の方は各拠点の窓口でお問合せください。

募金の方法

1 持参
お近くのYMCAセンター受付にお持ちください。

2 お振込み・クレジットカード
郵便振替やクレジットカードで受け付けています。
お振込み先等はWebサイトをご確認ください。

3 街頭募金
県内各地で街頭募金を実施します。会場・スケジュールはWebサイトでご案内します。



4 行事への参加
各センターではチャリティ行事を企画しています。

5 募金箱の設置
設置可能なお店等がありましたら、お申し出ください。



YMCA年末募金

【期間】2026年11月1日～2027年1月31日
募金方法・詳細はWebサイトでご確認ください。

熊本YMCA　年末募金

R | E | P | O | R | T

社会貢献 企業の力を地域のために　YMCAフィランソロピー協会



YMCAフィランソロピー協会事務局　田上恵美

企業と企業人の社会貢献を推進するYMCAフィランソロピー協会が3つの活動を実施しました。

多文化共生への理解を深めるセミナー

7月17日（金）、熊本YMCA本館／グローバルコミュニティセンターで、フィランソロピーセミナーを開催しました。外国籍人材の採用・活躍に関する事例を学ぶとともに、多文化共生について理解を深めることが目的で、第1部では熊本YMCA学院日本語科校長の尾道一幸さんが、外国籍人材が日本で働くうえでのルールや制度について基礎的に解説。第2部では、「日本で働くリアルと未来」をテーマにクロストークを行い、その後、意見交換と質疑応答を実施しました。



子どもたちの仕事観を育む「おしごとカフェ」

8月5日（水）、熊本YMCA本館／グローバルコミュニティセンターで「第9回おしごとカフェ」を開催しました。この取り組みは、児童養護施設で生活する子どもたちの「仕事観」や「職業観」を育み、将来の就労や進路について考えるきっかけをつくることを目的としています。当日は、菊水学園、慈愛園子どもホーム、広安愛児園から子どもたちや引率者など28名が参加しました。

税理士法人近代経営、熊本トヨタ自動車株式会社、社会医療法人愛育会 福田病院、YMCA熊本五福幼稚園の4企業・団体がブースを出展し、仕事の内容ややりがいを紹介。ボルトの組み合わせや赤ちゃんのお世話など、それぞれの仕事にちなんだ体験も行われました。



熊本地震とネパール土石流災害のための街頭募金活動

9月26日（土）、2026年熊本地震と8月に発生したネパール土石流災害の支援を目的とした街頭募金活動を行いました。びぷれす広場前を会場に、YMCAフィランソロピー協会の会員企業・団体と熊本YMCA学院の学生・留学生が協力して実施し、5企業・団体、41名が参加。道行く皆さんに支援を呼びかけました。企業・団体と学生がともに活動し、被災された皆さんに思いを寄せながら、支援の輪を広げる機会となりました。募金総額は124,531円となり、被災地支援に役立てられます。



野外教育 大自然の中で成長　子どもたちの挑戦



YMCAトラベル　YMCA阿蘇キャンプ　堤雄一郎

中高生の阿蘇留学2026

7月23日（木）～29日（水）と8月6日（木）～12日（水）の2期にわたり、YMCA阿蘇キャンプにて中高生を対象とした「阿蘇留学2026」を実施し、計6名が参加しました。スマートフォンやゲームに囲まれた日常から離れ、阿蘇の大自然の中で過ごす非日常の日々。参加者はスタッフの一員としてキャンプの運営や子どもたちの指導補助に携わりました。

リーダーとして子どもたちの前に立つ経験は、参加者にとって大きな挑戦となりました。皿洗いや荷物運び、清掃などを仲間と協力して進める中で、同じ気持ちを分かち合う喜びも知りました。薪割りやアーチェリーなどにも挑戦し、夜はテントの中でボードゲームを楽しみました。最終日には阿蘇五岳の最高峰・高岳の登山に挑み、仲間と励まし合いながら山頂に立ちました。

仲間や大人と本気で向き合い、自分の強みや役割を見つけていく。そんな一人ひとりの成長を間近で感じた夏となりました。



仲間と支え合う富士登山ツアー

8月25日（火）から28日（金）までの4日間、小学生4名・中学生6名の計10名で「富士登山ツアー2026」を実施。参加者は熊本駅から新幹線で静岡県御殿場・YMCA東山荘へ向かい、準備を整えました。

登山初日は朝3時50分に起床し、東山荘のガイドスタッフとともに須走口五合目から登山を開始しました。晴天の下、雄大な眺望に励まされ、声を掛け合い支え合って歩みを進めました。10時間30分の登山の末、全員が山頂に立ちました。登山最終日は山頂にかかる笠雲から天候の悪化を読み、夜明け前に下山。東山荘では滝行やウォータースライダーを楽しみ、2日ぶりのお風呂に笑顔があふれました。

東山荘でも山小屋でも、子どもたちは終始一緒に過ごし、ずっと笑い合い遊んでいました。自然や人との出会いの大切さを私自身が気づかされた旅となりました。



R | E | P | O | R | T

異文化交流 海外で広がる学び　スタディーツアー



国際事業部　兒玉多恵子

7月25日（土）～8月1日（土）、熊本YMCAと北九州YMCAの子どもたちが、シンガポール・マレーシアを訪れるスタディーツアーに参加。メトロポリタンYMCAシンガポールのリーダーたちとの交流やマレーシアの学校の子どもたちとの交流の中で、英語を使って様々な活動に挑戦しました。

シンガポールでは、現地の歴史や文化を学ぶため、考古学博物館を訪れ、発掘作業や作業場も見学。マレーシアでは、自然の中での活動や学校交流、ランタン上げなどを体験しました。言葉が通じない場面でも少しずつ距離が縮まり、子どもたちは積極的に交流を楽しんでいました。

ツアーを通して参加者は、英語を「正しく話すこと」だけではなく、「伝えようとする気持ち」が大切だということを学びました。また、異なる文化の中で生活することで、自分から考え、行動する力も育まれたようです。海外での出会いや体験を通して、子どもたちの世界が広がるツアーとなりました。



福祉キャンプ 盲学校の子どもたちが参加　ポニーキャンプ



熊本YMCA学院 こども保育科　西本愛

9月18日（金）～19日（土）の1泊2日、熊本ワイズメンズクラブとの協力や全国YMCA募金の助成のもと「第50回ポニーキャンプ」が開催されました。

今回のポニーキャンプは、盲学校の小学5年生、6年生の集団宿泊として実施し、児童4名、教員4名、そしてリーダーとして熊本YMCA学院こども保育科の1年生19名が参加しました。阿蘇草原保全活動センターでかやぶき椅子を手で触れて確かめ、野焼きの学びや火消し体験を行いました。YMCA阿蘇キャンプでは竹箸作りや夜のキャンドルの集い、翌日は粉からのピザ作りと飯盒炊飯に挑戦しました。

最初は戸惑う姿が多かった学生リーダーたちも、盲学校の先生から多くを学び、子どもたちと寄り添う中で心が通い合いました。子どもたちの「楽しかった！また行きたい」との言葉に学生も安堵。50年の歩みが紡ぐ盲学校とYMCAの深いつながりを感じる時間となりました。長年育んできたこの大切な絆を未来へつなぐため、時代の変化に合わせて進化し引き継がれることを願います。



日本語教育 学びの成果発表　留学生のスピーチ大会



熊本YMCA学院 日本語科　尾道一幸

9月10日（木）、熊本YMCA学院日本語科は、熊本YMCA本館／グローバルコミュニティセンターで、春期の学習成果を披露する恒例のスピーチ大会を開催しました。初級Ⅰ・初級Ⅱ・中級の各課程の予選を突破した9名が、全学生の前で発表しました。

初級Ⅰのテーマは「わたしのこと」。授業で書いた国や町、趣味、家族などについての作文をもとに発表しました。初級Ⅱと中級は自由テーマで、それぞれの経験や考え、将来への思いを伝えました。

発表者は表情やジェスチャー、ユーモアを交え、自分の思いを力強く表現。聴衆も熱心に聞き入り、大きな拍手を送るなど、会場は温かな一体感に包まれました。

審査の結果、第1位は「外国語を勉強する利点」、第2位は「夢を叶えるために努力すること」、第3位は「私の夢と平和」の発表でした。日本語を通じて互いの思いにふれ、学び合う機会となりました。



熊本YMCA 総主事 伊藤眞太郎　マナ Vol.14

上を向いて歩こう

7月28日の地震以降、熊本YMCAでは行政から委託を受け、御船町で1つ、八代市で2つの避難所を運営しています。その現場には、全国のYMCAから多くの仲間が応援に駆けつけてくださっています。ただただ、感謝の気持ちでいっぱいです。

先日、その応援スタッフの中に、盛岡時代からよく知る仲間が来てくれました。短い時間でしたが、一緒に食事をしながら話していると、盛岡での日々が昨日のことのようによみがえってきました。

盛岡では、新年会や送別会を盛大に行い、最後は必ずカラオケで締めくくるのが恒例でした。そして、その時に盛岡の総主事が必ず歌うのが「上を向いて歩こう」でした。

共に汗を流し、笑い合った日々。あの温かい歌声を思い出すと、仲間と肩を並べ、前を向いて歩こうと確かめ合ったあの頃の気持ちがよみがえります。

熊本の地で再会した仲間と二人、その歌声を思い浮かべていると、私は深く励まされ、もう一度、背中を押されたような気持ちになりました。

今、熊本の避難所には、先の見えない不安の中で、空を見上げている方々がたくさんいらっしゃいます。一人ひとりが抱える思いは違います。だからこそ、その思いに心を寄せ、一人ひとりと共にいることを大切にしたいと思います。

共にいること。それは、誰かに「ひとりじゃない」と伝えるだけでなく、その人と同じ時間を過ごし、その思いに寄り添うことなのかもしれません。

私たちYMCAもまた、全国の仲間に支えられています。遠く離れていても、思いを寄せ、共に歩もうとしてくれる仲間がいる。そのことに、心から感謝しています。

そして、神様もいつも私たちと共にいてくださいます。

上を向いて歩こう。
私たちは、ひとりじゃない。

Information

第11回熊本YMCA インターナショナル・チャリティーラン



障がいのある子どもたちを支援するとともに、障がいへの社会的な理解と関心を高めることを目的として開催します。

日 11月15日（日）10:00〜13:30　種目／参加費 ・グループラン（5名）高校生以上10,000円／小中学生チーム5,000円　・ファミリーラン（ご家族）3,000円　・個人ラン 中学生以下1,000円　・つながるラン（寄附での参加）2,000円／1口

問 熊本YMCA本部事務局 Tel 096-353-6397　詳細はこちら▶

市民クリスマス2026「希望のともしび」



尺八奏者・飯吉規邦さんを迎え、クリスマスチャリティーコンサートを開催します。ピアノの角本茜さん、少年少女合唱団「まんてんSMILE」も出演。益金は熊本YMCAを通して、2026年熊本地震の被災地への寄付として用いられます。

日 12月5日（土）14:00開演（13:30開場）　場 日本福音ルーテル神水教会（熊本市中央区神水1-14-1）※公共交通機関でご来場ください。

費 1,000円（高校生以上・全席自由）　チケット 熊本YMCA各施設で取り扱い

問 市民クリスマス2026事務局（熊本YMCA）Tel 096-289-2433（ユナイテッドトヨタ キズナパーク益城）

阿蘇カウントダウンキャンプ 2026-2027

YMCA阿蘇キャンプでは、毎年、年末年始に仲間が集い、様々な年末年始の行事を楽しみ、温かいひと時を過ごしています。ご家族・ご親戚・お友だち・グループ・お一人での参加も大歓迎です。

日 2026年12月31日（木）13:30集合〜2027年1月1日（金）14:00解散 1泊2日

定 8組25名程度　場 YMCA阿蘇キャンプ（阿蘇市車帰358）

費 ・メインロッジ 1泊2日3食付 1名 21,000円
・キャビン 1泊2日3食付 1名 19,000円
・未就学児 1泊 9,000円
・2歳以下 1泊 3,000円

問 YMCA阿蘇キャンプ Tel 0967-35-0124　詳細はこちら▶

熊本YMCA学院　バスケットボール優勝

9月19日（土）〜23日（水）の日程で「熊本県専修学校各種学校連合会スポーツ大会」が開催され、熊本YMCA学院からは、フットサル、バスケットボール（男子）、ソフトテニス（男子）、バドミントン（男子・女子）の各種目に参加しました。バスケットボール男子は見事優勝に輝きました。



日 日時　場 会場　内 内容　費 参加費　定 定員　条 参加条件　持 持ち物　対 対象　催 主催　締 締切　申 申込　問 問合せ　他 その他

わたしのYMCAストーリー

夢に向かって一歩ずつ



熊本YMCA学院　ホテル観光科1年　ネパール出身
グルン ウジャル

私はホテルマンになりたくて、熊本YMCA学院に入学しました。授業はとても面白いです。ホテルサービス、ビジネスマナー、英語など、日本人の学生たちと一緒に、いろいろなことを学んでいます。

福岡や東京のホテルでの研修では、ホテルで働く皆さんの言葉遣いや姿を見て、自分もこのようなホテルマンになりたいと思いました。夏には、2週間の予定でホテル実習に参加しました。でも、アルバイトもあって時間管理がうまくできませんでした。今はそのことを反省して、冬の実習に向けて「自分にはできる」という気持ちで授業に取り組んでいます。

9月には、熊本地震とネパールの土石流災害のための街頭募金に参加しました。自分の国のためにYMCAが募金活動をしてくれると知り、私も手伝いたいと思いました。たくさんの人が募金箱にお金を入れてくれました。災害は悲しいことですが、募金活動に参加できてよかったです。

卒業後は日本のホテルで働きながら学び、いつかネパールで自分のホテルを持つことが夢です。もうすぐ2年生になるので、就職に向けて頑張ります。

※このコラムではYMCAに関わる皆さんに「みつかる。つながる。よくなっていく。」「ポジティブネットのある豊かな社会」をテーマに寄稿をいただきます。

ワイズメンズクラブリレーコラム

人との出会い



熊本にしワイズメンズクラブ 会長
木本 博章

熊本にしクラブは、2009年4月にチャーターし、今年で18年目を迎えております。これまでの活動を振り返ると、多くの方々との出会いがあり、その一つひとつがクラブの歩みを支えてきたのだと感じます。

最近では、9月の京都部会で西連合と言って、神戸にし・京都ウエスト・大阪西・千葉ウエスト・東京ウエスト・熊本にしの6クラブが締結し兄弟クラブとして更なる交流の輪を深めております。10月の九州部会にも参加していただき酒を飲みながら有意義な時間を過ごしました。

是非、にしクラブの例会に、遊びに来てみませんか！にしクラブ一同お待ちしております。

※ワイズメンズクラブ国際協会は 、YMCAをサポートする世界的な奉仕団体です。

世界YMCA大会、日本YMCA大会の報告は
YMCA NEWS 1・2月号に掲載します。

発行所／（公財）熊本YMCA
〒860-8739 熊本市中央区段山本町4-1
TEL 096-353-6397㈹
発行人／伊藤 眞太郎　編集／熊本YMCA ICR
定価60円 購読料は会費に含む
www.kumamoto-ymca.or.jp

▲公式LINE

熊本YMCAの使命　共に生きる社会　生涯学習の推進　ボランティア活動　地球環境の保全　ウエルネス活動　平和な世界

2026年度基本聖句　ヨハネの手紙 一 3章18節
子たちよ、言葉や口先だけではなく、
行いをもって誠実に愛し合おう